

平成 28 年度 県民の環境活動支援事業

ちば里山カレッジ「第 1 回フォローアップ研修」実施報告書 (1)

特定非営利活動法人ちば里山センター

題 名	ちば里山カレッジ「第 1 回フォローアップ研修」 講義：「チェーンソーの点検整備・目立て研修」 実習：「チェーンソーの整備と目立て」
日 時	平成 28 年 6 月 26 日 (日) 9:30~17:00
会 場	千葉県緑化推進拠点施設 研修室
出席者	受講生 40 名・主催者 2 名・スタッフ 2 名
内 容	9:30~10:30 講義：「チェーンソーの点検整備・目立て研修」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 10:45~15:00 「チェーンソーの整備と目立て」 講師：千葉県森林組合 南部支所 事業課長 安全管理指導専門家 木村 正敏 15:00~17:00 里山活動相談&情報交換会 総括質疑 「チェーンソーのメンテナンス」 活動団体報告 NPO 法人ちば森づくりの会、NPO 法人ハナノモリ、 里山フォース会、椎の森里山会
報 告	<ul style="list-style-type: none"> ・木村講師はチェーンソーを点検整備するに先立ち、チェーンソーを扱う際の労働災害防止のための規程（「林業・木材製造業労働災害防止規程」平成 27 年 10 月適用）が改正され、保護帽、防振手袋、イヤーマップル、防護ズボンなどの着用が義務付けられたと紹介した。 ・チェーンソー事故防止の要素は、慣れ、思い込み、うっかりなどミス構造を端的に説明し、点検整備は実技動画を鑑賞し、ノウハウを身に着けた後、実習に入った。 ・千葉県緑化推進拠点施設内のフィールドを使って行われたチェーンソー点検整備実習は、本体の機種による部品の装着機構が異なるため、実技動画のように簡単ではなく、清掃の行程で扱う部品が外れないと立ち往生する一幕も散見された。 ・無事清掃を終えるとソーチェーンの目立てだ。ソーチェーンが逆に装着されている光景にぶつかる。気を取り直して目立てを終える頃、試し切りの音がうなりを上げている。チャップス、ヘルメットを代わる代わる装着し、丸太に挑む。切れ味鋭く、切れ端が飛び散っていた。 ・チェーンソー点検整備の実習を終えて、室内に戻り、各自が活躍する里山活動団体からの報告。 ・NPO 法人ちば森づくりの会、森野正基さんは今年の 4 月から加入した。1 度の活動で筋肉痛が治まらないが、年配者の手際よい仕事に勇気づけられて、継続して活動していきたいと報告。 ・NPO 法人ハナノモリの伊藤輝幸さんはミツバチが生育できる里山の再生を目指して活動している様子を伝えた。ミツバチが花粉を媒介し結実する果実を私たちの食物としている構造を指摘し、蜜源植物の育成と里山から得られる商品を資金に結びつける試みを紹介した。 ・里山フォース会の伊藤省三さんは四季折々の楽しみを作りながら会員の親睦を兼ねて活動に参加している様子を報告した。 ・椎の森里山会の赤松義夫さんは全国的に里山を荒らし、増え続けているイノシシの狩猟を紹介。昨年は 17 頭捕獲した。沼地をビオトープにし、ゲンジボタルがよみがえったと報告した。 ・チェーンソーの分解清掃が初めての人、日常的に行っている人も習得する項目は多く、確かな収穫だったようだ。

添付資料（写真）



木村講師講義



講義の面白さに笑顔が漏れる



ヘルメットも大事



デプスゲージで調子を見る



ソーチェーンの遊びは？



デプスゲージで調整



木くずの飛び方で切れ味が分かる



NPO 法人ちば森づくりの会
森野正基さん



NPO 法人ハナノモリ
伊藤輝幸さん



里山フォースの会
伊藤省三さん



椎の森里山会
赤松義夫さん